

都私幼P連

PTAだより

発行所
 東京都私立幼稚園
 PTA連合会広報部
 東京都千代田区九段北4-2-25
 私学舎 館
 TEL. 03 (3262) 3666
 FAX. 03 (3264) 6195
 <通巻33号>

子育て
対談

子どもの「食」への関心は、親の愛情こめた手作り料理の中から育つ



つきもと きくくさん
 月本 喜久さん
 (東京都私立幼稚園
 PTA連合会会長)

月本 実私、土井先生が出演されている朝の料理番組をよく拝見しているんです。むしろそうした料理を、お話をしながら手きわよく、おいしそうに作りになるご様子に、いつも感心させられています。

土井 ありがとうございます。むしろかきこむように見える料理でも、基本のところをひとつづつと覚えておけば、案外、簡単にできてしまうものなんです。

月本 そうなるように頑張りたいと思います。(笑)。今日は土井先生の子育てのお話を伺いたいのですが、先生は食育についても独自の考えがあるとお聞きしておりますので、まずはそのあたりからお話を進めていただければと思います。

土井 そうですね。私も講演などで食育のお話をする機会が増えてきています。



とよしはる
 土井 善晴さん
 (料理研究家/フードプロデューサー)

●プロフィール/1957年、日本の料理研究家の第一人者として知られる故・土井勝の次男として大阪に生まれる。スイス、フランスでフランス料理を、大阪の「味吉兆」で日本料理を修業。92年「土井善晴おいしいもの研究所」を設立。テレビや雑誌で料理を指導する他、レストラン等のプロデュース、早稲田大学文化構想学部非常勤講師など、活動は多彩。「おかげのクッキング」テレビ朝日系ほか全国ネットで毎週土曜日朝5時25分から放送中。著書は『祝いの料理』(テレビ朝日)、『お箸で食べる洋食』(講談社)他多数。1女の父。

妻の子育てのプロセスを尊重し 家族を見守ることが私の役割……

料理研究家の土井善晴先生はテレビや雑誌を通して、いつもこやかにおいしい料理の作り方を指導してください。そして先生は食育に関しても独自の考えをお持ちです。今回はそのお話を中心に、もうすぐ大学生になる娘さんの子育てについて伺いました。

家庭料理の復活が食育に結びつく

月本 実は私、土井先生が出演されている朝の料理番組をよく拝見しているんです。むしろそうした料理を、お話をしながら手きわよく、おいしそうに作りになるご様子に、いつも感心させられています。

土井 ありがとうございます。むしろかきこむように見える料理でも、基本のところをひとつづつと覚えておけば、案外、簡単にできてしまうものなんです。

月本 そうなるように頑張りたいと思います。(笑)。今日は土井先生の子育てのお話を伺いたいのですが、先生は食育についても独自の考えがあるとお聞きしておりますので、まずはそのあたりからお話を進めていただければと思います。

土井 そうですね。私も講演などで食育のお話をする機会が増えてきています。

えきているんですが、正直なところ今言われている食育が本当に良い形なのかどうか、少し疑問を感じています。というのは自分の子ども時代には普通の家庭の暮らしの中で家庭料理が普通に作られ、それを家族みんながしっかりと食べていたというのが基本で、それさえできていれば食育がどうの、改めて言う必要もなかったからなんです。

月本 代々伝わってきた家庭料理が作られなくなったことにあると思います。以前のよう



女の子の仲よし4人組。寒さに負けず元気いっぱいです
 (写真提供・河口写真事務所)

おいしいと栄養価はイコールの関係

月本 つまり、食育は親が家庭料理をきちんと作ることから始まるというお考えなんですかね。

土井 その通りですね。子どもにあれこれ教える前に、親が家族への愛情をこめて手作り調理することが大切だと思っています。たとえばミキサーなどの電化製品を使えば調理時間は短縮しますが、そのぶんビタミン類が破壊され栄養価は下がってしまいます。

月本 それがお腹を空かせた時、コンビニで何かを買って与えていたのでは「食」への関心は生まれてこないんです。やっぱり親が毎日、ていねいに料理を作る姿勢が大事です。料理を作ることが家族への愛情そのもの。まさに「無償の愛」ともいえますが、子どもはその愛をもらい続けて

成長し、やがて自然な形で「食」への思いや関心を高めていくと

月本 子どもに料理を作らせるというのはどうでしょう。

土井 幼いうちから面白半分です。料理づくりをさせるのはあまり感心できません。料理は家族の絆をつくる大切な仕事。それを安易に子どもに任せるといけないと思います。食卓に食器を並べるとか、食べた後に食器を流しに持っていき、お手伝いをさせれば、それで十分だと思っています。

わが子の成長に気づく喜び

月本 先生のお子さんは娘さんお一人と伺っています。が、今おいくつになられたんですか。

土井 十七歳で、この四月から大学生になります。



対談は土井先生のキッチンスタジオで行われた

月本 娘さんの幼稚園時代など、どのように接してこられたのでしょうか。

土井 自身、子どもの頃に親からいろいろ言われるのが嫌だったものですから、娘にもあれこれ言うことはなかったですね。ただ、幼稚園の運動会とか発表会などの行事には参加するように心がけていました。やっぱり親が見に行けば、子どもは喜びます。

月本 奥様と子育てについて相談することはありましたか。

土井 私は娘の育つ姿を見守るという立場でいましたから、妻からある程度報告をかねて相談を受けることはあっても、私の方からこうした方がいいなどということはありませんでした。それは目頃から子育てに取り組んでいる妻の立場や、子育てのプロセスを尊重することが、私の役割のひとつだと思っていたからです。

月本 ありがとうございます。

『TOKYO SNOW STYLE in 都庁』
◆キッズスノースクエア開催のお知らせ

3月7日(土)、8日(日)に東京都主催「TOKYO SNOW STYLE in 都庁*」を開催致します。

その中で、何とんでも注目目は、キッズスノースクエアです。多くの子どもたちに「雪の世界」を知ってもらう機会として、200㎡のスノースクエアを設置致します。大きな雪だるまや雪山、そり遊びに宝探しなど、東京の真ん中で本格的な雪遊びを体験できます！

また、当日、都庁前の会場都民広場では、高さ約15mのクォーターパイプ(ジャンプ台)での世界トップレベルのパフォーマンスやイベント当日福島県猪苗代で開催されるフリースタイルスキー世界選手権モーグル、デュアルモーグル競技の中継を致します。

是非会場にお越しいただき、雪と触れ合い素敵な思い出を作りましょう。

*TOKYO SNOW STYLE in 都庁…全日本スキー連盟がスキースポーツの普及と活性化を進める「I LOVE SNOW」キャンペーンと国際スキー連盟が世界的に推進する「Bring Children to The Snow」が運動して、雪との触れ合いを楽しむ機会を子どもたちに提供するイベント。

- ◆開催日：3月7日(土)、8日(日)
- ◆会場：東京都都民広場
- ◆お問合せ：東京都生活文化スポーツ局スポーツ振興部スポーツ事業課
電話：03-5320-7714
- ◆お申込・入場料：事前申込不要・入場無料
- ◆詳細：http://www.tokyosnowstyle.jp/
- ◆主催：東京都
- ◆共催：全日本スキー連盟
- ◆後援：国際スキー連盟

都庁前の都民広場で本格的な雪遊びを！

オリンピックを東京に、2016年！

オリンピックを東京に、2016年

元女子バレーボール全日本代表

吉原知子さんとオリンピックを語り合う



吉原知子さん

(元女子バレーボール全日本代表)

●プロフィール/1970年、北海道生まれ。中学1年生の時からバレーボールを始め、高校3年生で全日本代表初選出。04年には、五輪出場をかけて臨んだアテネ五輪予選で「優勝請負人」として主将に抜擢され、柳本ジャパンの精神的支柱として五輪出場を果たした。国内のみならず海外での海外プレー経験も併せ持ち、五輪出場3回という華やかな経歴を持つ。06年に現役を引退し、バレーボール・スポーツ解説、リポーターなどで幅広く活躍している。08年東京オリンピック・パラリンピック招致委員に就任。

オリンピックは世界中のアスリートが目標にするスポーツの祭典です。東京都は、2012年ロンドン大会の次、2016年の夏季オリンピック開催都市に立候補し、現在、招致活動を積極的に展開しています。IOCの開催都市決定は今年の十月に迫り、四月には評価委員が東京へ視察に訪れます。シカゴ、マドリッド、リオデジャネイロ各市との招致競争はこれからが佳境。私たち私立幼稚園児の保護者も、子どもたちに「生のオリンピック」を体験させてあげるために都の招致活動に大いに協力しましょう！

オリンピックへの強いあこがれ！

吉原 私は北海道の妹背牛町というところの出身なんです。この町にある中学校と高校が大きな大会で優勝するようなバレーボールの強豪校だったんです。小さい頃から身長が高かった私は、周りから勧められて中学一年生の時からバレーボールを始め、高校生の時にインターハイに出場することができました。

私には北海道の妹背牛町というところの出身なんです。この町にある中学校と高校が大きな大会で優勝するようなバレーボールの強豪校だったんです。小さい頃から身長が高かった私は、周りから勧められて中学一年生の時からバレーボールを始め、高校生の時にインターハイに出場することができました。



写真左から利光ゆかりP連役員、吉原知子さん、月本喜久P連会長



写真左から桐野美穂・鈴木幸代・宇野文P連役員

私は経験を買われ、柳本ジャパンの選手のため役となって予選を突破し、三度目のオリンピック出場を果たすことができました。私は中学生の時から日本代表選手として国際試合等にも出場する機会を与えていただきました。オリンピック選考会でも優勝しましたが、当時の自由型長距離は世界の水準からは遠く、子どもの頃の夢であったオリンピック選手にはなれませんでした。

子どもたちにも「生のオリンピック」を

本物のアスリートとの出会い、世界各国の人たちとの交流を子どもたちにも体験させよう

開催国では国全体での盛り上がり

吉原 初めてのオリンピックでバルセロナへ行った時に、本大会の前にバルセロナから離れた地方の小さな町で合宿をしたんです。この町なら大した騒ぎにもならず落ち着いて練習できると思っただけで大層な練習場だと思っただけで大層な練習場だと思っただけで...

桐野 競技中のトップアスリートの真剣な姿も魅力的ですが、アスリートと会えたらうれしいですね。子どもたちにもすくすくかけてくれたらみんな夢のように感じるでしょうね。

利光 つまり、いろいろな種類の選手たちが東京だけでなく、全国各地で本大会前の合宿をするわけですね。今は東京だけが懸念になってオリンピック招致活動を進めている感じですが、もし東京に決定したら国全体で取り組まなくてはならないことになりそうです。

吉原 本大会にその通りです。チームスポーツの場合などはオリンピックをやっていたので、私は試

日本だから、できる。あたらしいオリンピック！

吉原 サッカーのワールドカップが日本と韓国の共催で開かれた時、九州の小さな村でアフリカのチームが合宿したことからその国と村との交流が深まり、地域がすくすく活性化している話を聞いたことがあります。

吉原 本大会にその通りです。チームスポーツの場合などはオリンピックをやっていたので、私は試

吉原 そうですね。たしかに自分もオリンピックを東京で開催しようがしまいが関係ないという人がよくおられますけれど、最近のスポーツには「見る」「支える」という三つの関わり方があると考えられています。ですから、もし自分自身でスポーツをしていなくても、応援をして楽しむとか、あるいはボランティアなどの形で競技の運営

吉原 今、幼稚園児の子どもでもオリンピックが開催される7年後には小学校高学年くらいになっています。その時期に本物のアスリートとの出会い、世界各国の人たちと交流する機会に恵まれるのは、子どもたちの将来にとっても有意義なことだと思います。今日はありがとうございました。



幼い子どもたちにオリンピック観戦の夢を与えよう

吉原 ええ、その時は日本の協会が若手中心に選手を選んだので、私は代表から外れていました。でも次のアテネでは選考方針が実力重視に変わったため、私も代表から外れていました。でも次のアテネでは選考方針が実力重視に変わったため、私も代表から外れていました。

吉原 ええ、その時は日本の協会が若手中心に選手を選んだので、私は代表から外れていました。でも次のアテネでは選考方針が実力重視に変わったため、私も代表から外れていました。

吉原 ええ、その時は日本の協会が若手中心に選手を選んだので、私は代表から外れていました。でも次のアテネでは選考方針が実力重視に変わったため、私も代表から外れていました。

吉原 ええ、その時は日本の協会が若手中心に選手を選んだので、私は代表から外れていました。でも次のアテネでは選考方針が実力重視に変わったため、私も代表から外れていました。

吉原 ええ、その時は日本の協会が若手中心に選手を選んだので、私は代表から外れていました。でも次のアテネでは選考方針が実力重視に変わったため、私も代表から外れていました。

吉原 ええ、その時は日本の協会が若手中心に選手を選んだので、私は代表から外れていました。でも次のアテネでは選考方針が実力重視に変わったため、私も代表から外れていました。

世界最大級の音楽祭・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭2009
今年もゴールデンウィークに第5回記念開催！

05年に初めて日本上陸し、数えて5回目となる「熱狂の日」の今年のテーマは「パッサとヨーロッパ」です。日本人に人気の高いパッサを中心に公演プログラムが組まれ、恒例のゴールデンウィークに開催されます。今回も世界各国から一流アーティスト1500人以上が集まり、パッサの真髄とその広がりが満喫できます。

今年は東京国際フォーラムでの有料公演を5月の3・4・5日の3日間に凝縮し、内容豊かにお届けします。丸の内周辺エリアを含めて公演予定数(関連イベント含む)は約400(東京国際フォーラム内約300公演)、予想延べ来場者数70万人以上の一大イベントです。

各ユニットの公演時間は基本的に45分(一部長尺もあり)と短めに設定されているため、次々と公演のハシゴを楽しめます。しかもリーズナブルな料金。一部中高生には優待チケットもあります。今年も0歳からのコンサート、キッズプログラム、各種無料公演・関連イベントと盛りだくさんで家族そろって楽しめます。

ゴールデンウィークは「安」「近」「楽」の東京国際フォーラムへ、ぜひお越しください。

◆期間：5月3日(日)～5月5日(祝)
*4/28(火)より丸の内・周辺エリアで関連イベント開催
◆会場：東京国際フォーラム
◆お問い合わせ先：ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭事務局 03-5221-9100
◆公式HP：http://www.lfj.jp

LA FOLLE JOURNÉE au JAPON

第17回都私幼P連大会開かれる

第17回東京都私立幼稚園PTA連合会大会は、第9回全日私幼P連東京地区協議会との共催により、昨年11月10日(月)、アルカディア市ヶ谷(私学会館)において盛大に開催されました。大会第1部の式典では、都議会各党の代表者や都の私学部長から、私立幼稚園

教育が果たす役割への期待や、教育内容を一層向上させるための補助制度の充実などについての挨拶がありました。また第2部ではリズム音楽研究所主宰のカムジー先生と、タレント・エッセイストの兵藤ゆき先生の講演、やなわらばーのミニライブが行われました。



盛大に開催された都私幼P連大会



会場を埋めつくした私立幼稚園保護者の皆さん

「今、私たちが子どもにできること」
講師/タレント・エッセイスト 兵藤ゆき先生
カムジー先生の講演後、ラジオやテレビ、エッセー等で活躍されている兵藤ゆき先生の講演が行われました。兵藤さんは十二年前お子様を出産し、生後七月まで日本で育てていましたが、その後渡米してニューヨークへ。ご主人の大学院課程で二、三年滞在する予定でしたが、さらに博士号課程取得のため滞在が伸び、目処がついた一昨年、日本へ戻って来られたそうです。日本とアメリカでは子育てに違いがあり、たとえばトローツレススクールで日本の年少前から年中の時期に通う所では、読み書きよりも前に話す聞く、徹底的にやるのだそうです。四歳、五歳の子どもに、当時選挙の真つ最中だったゴアとブッシュについてテレビや本で調べたり家族で話し



兵藤ゆき先生

「今、私たちが子どもにできること」

講師/タレント・エッセイスト 兵藤ゆき先生

カムジー先生の講演後、ラジオやテレビ、エッセー等で活躍されている兵藤ゆき先生の講演が行われました。

兵藤さんは十二年前お子様を出産し、生後七月まで日本で育てていましたが、その後渡米してニューヨークへ。ご主人の大学院課程で二、三年滞在する予定でしたが、さらに博士号課程取得のため滞在が伸び、目処がついた一昨年、日本へ戻って来られたそうです。日本とアメリカでは子育てに違いがあり、たとえばトローツレススクールで日本の年少前から年中の時期に通う所では、読み書きよりも前に話す聞く、徹底的にやるのだそうです。四歳、五歳の子どもに、当時選挙の真つ最中だったゴアとブッシュについてテレビや本で調べたり家族で話し



カムジー先生

「毎日が楽しい! 1分間のリズム遊び!」

講師/リズム音楽研究所主宰 カムジー先生

式典終了後、子どもたちのアイドル! カムジー先生による「毎日が楽しい! 1分間リズム遊び!」と題して、楽しい講演が始まりました。先生は、リズム音楽研究所を主宰し、ジャズベ

「ここを育む教育」の大切さを説いています。「早起きリズム・コンサート」を開催し、親子で楽しめる教室をいくつも開いて活躍されています。カムジー先生からのメッセージは「リズムと心」。とにかく部屋に入る時から、子どもの気持ちに意識している。衣装と心からの音、道具から発せられるリズム音。これらが、何とも子どもたちの「こころ」を魅きつける。一度、集中させると、もう、こころを離さない。おと



会場の保護者もリズム遊びで体を動かす



演奏中のやなわらばーのお二人

都P連大会でやなわらばーがミニライブ
講演終了後、今、卒園ソング「プレゼント」で注目を集めている石垣島生まれの女性ユニット・やなわらばーのミニライブが行われ、聴く者の心に響く美しいハーモニーで会場に安らぎを与えてくれました。



「今日はこちらまで登れたよ!」子どもはみんな木登りが大好き

◆家庭教育向上と幼稚園教育振興めざし PTA全国大会開催される

昨年の十一月十九日、全日本私立幼稚園PTA連合会(森喜朗会長)は東京のグランドプリンスホテル赤坂において「次代(あす)を担う子どものために」をテーマに第二十三回PTA全国大会を開催しました。会場には全国各地から保護者代表、幼稚園関係者など約一千百人が集まりました。



1400人が参加したPTA全国大会

◆都内の私学・幼小中高の父母が結集 予算要望期成大会開かれる

昨年の十一月二十五日(火)、年度・私学助成予算要望期成大会が都立大会として、平成二十一年度、私学助成予算要望期成大会が行われました。この大会は復活期成大会の壇上に並ぶ北條会長

は公私間の格差差正をめぐし、私学全体の健全な育成と教育条件の維持向上及び保護者負担の軽減を図るため、都内の私立幼小中高が一つに結集して都の行政当局にお願いするものです。今回も幼小中高の父母約千二百人うち幼稚園は百人が参加し、熱気あふれる大会となりました。



復活期成大会の壇上に並ぶ北條会長

園庭から

自然を愛でる環境の中 すべてを慈しむ心が育つ
港区・明徳幼稚園 利光 ゆかり



園庭の遊具で元気に遊ぶ子どもたち



野菜を育て、その成長過程を学ぶ

明徳幼稚園の園児は毎日「いつも明るく正しく仲よくして、み仏さまのよい子になることを誓います」と言っています。自然を愛でる環境の中、すべてに対して慈しむ心を育んでもらえることは、何よりの宝。保護者としてうれしく思います。

園庭の一角でお花や野菜の種をまき、水やりをして育てます。やがて花が咲き、トマトやきゅうり、茄子がなるまでの成長の過程を学びます。園庭の木々はそれぞれの季節にそれぞれの花や実をつけます。四季折々の自然の美しさに素直に感動し、子どもたちは大事に収穫して、野菜や果物をいただきます。すべてのものには命が宿り、互いに尊重し合えば、それが互いの喜びにつながります。元氣な声で子どもたちが「いただきます」と言います。私たちはたくさんの命をいただいている生かされています。だからこそ、元氣でいる。だからこそ自分を大切に、隣の人も大切にです。みんなで仲よくするのです。



お地藏様をやさしく清める子どもたち

